

事務事業評価シート

(H.28)No.	1461	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	小中一貫教育推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード
一般会計	(中事業名)※予算書事業名
款 教育費	小中一貫教育推進事業
項 教育総務費	(小事業名)
目 教育振興費	小中一貫教育推進事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の推進
	施策	1	学校教育
	小施策		
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
小学校6年間、中学校3年間という括りを取り払い、様々な教育課題の解決を目指して、子どもの育ちに合った9年間の一貫した、系統性・連続性のある教育の在り方について調査研究を行います。
事業内容
小中一貫教育の体制づくりのため、文部科学省の「小中一貫教育推進事業」を受託し、義務教育9年間を見通した計画的・継続的な指導を通じた学力・学習意欲の向上や、効果的な取組を安定的・継続的に実施していく基盤づくりを行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 小学校6年間、中学校3年間という括りを取り払い、様々な教育課題の解決を目指して、子どもの育ちに合った9年間の一貫した、系統性・連続性のある教育の在り方について検討しました。 研究校(1中学校、1小学校)を指定し研究を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育研究協議会において名張市としての小中一貫教育の在り方を検討する。研究推進校の他の中学校区への導入に向け必要な教育環境整備についての検討を行う。 研究推進校(1中学校、1小学校)による、英語教育・ふるさと学習・キャリア教育等のカリキュラム作成とその実践。

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> 研究推進校の他の中学校区への導入に向け必要な教育環境整備についての検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全中学校区への導入に向け、必要な教育環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全中学校区への導入に向け、必要な教育環境整備を行う。

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	1,934千円	1,400千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
内訳(千円)	国・県支出金	1,400	1,400	1,000	1,000	100
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 534	0	0	0	900
人工数	職員	0.10人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 777千円	397千円	397千円	397千円	397千円	
①+②総事業費	(0千円) 2,711千円	1,797千円	1,397千円	1,397千円	1,397千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
<ul style="list-style-type: none"> つつじが丘小学校・南中学校を研究推進校とし、小中一貫教育についての調査研究を進めました。 名張市における「小中一貫英語教育カリキュラム」を策定することができました。また、ふるさと学習「なばり学」については、準備委員会を立ち上げました。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の研究の成果をもとに、他の中学校区への導入の準備を進めるとともに、その他の教育環境整備についての検討も行います。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」を育むために小中学校が一貫した教育カリキュラムを作成する基盤づくりができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第二次名張市子ども教育ビジョン
研究推進校において小中一貫教育についての調査研究を進め、その検証結果を各中学校区における小中一貫教育の計画的な導入に生かします。	